

(別紙4(2))

事業所名 : ライフケアホーム読谷

作成日 : 令和3年1月12日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価、及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題の焦点化が難しくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点・課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	利用者から「車椅子を押してほしい」等の要求が増えると、職員は「自分でできるのでやってほしい」と、自立支援の思いで発する「頑張ってる」等の声掛けが強くなることもある。虐待防止の方針やマニュアルを作成していく。	高齢者虐待防止については、虐待防止指針や高齢者虐待防止対応マニュアルを早急に整備し、職員への周知を行う。	高齢者虐待防止マニュアルを整備し、研修や勉強会を通して職員への周知を行っていく。	3 か月
2	35	昼夜を想定した避難訓練の実施がされていない。発電機1台とラーメン等以外の食料等の備蓄は、法人厨房で管理しているが、そのリストや内容、量等の周知がされていない。	早急に避難訓練を実施し、全職員で対応マニュアルを確認するとともに、備蓄全般についても、法人全体で確認を行う。	コロナ禍の中、避難訓練の実施が難しい状況である為、消防署へ相談を行い、避難訓練の計画・実施を行っていく。また、災害時に対応できる食料等の備蓄に関し確認を行っていく。	6 か月
3	4	地域代表を依頼するために、数人の自治会長に運営推進会議の意義を説明して協力を求めているが、多忙を理由にこれまで参加に至っていない。	地域密着型サービスを提供する事業所として、地域の理解と支援を得る上でも、これまで以上にアプローチ方法を工夫して、運営推進会議への地域代表の参加を実現する。	コロナ禍ではあるが、地域代表の参加が定着できるよう、自治会長だけに限らず、地域代表として参加して頂ける方の情報収集を行い、参加依頼を行っていく。	12 か月
4	1	職員は理念と自立支援の説明とその理解を得ることに悩んでいる。利用者が地域との関わりを継続できるよう支援しているが、2項目ある理念からは地域密着型サービスの意義が読み取れない。	地域密着型サービスの意義や役割について、ケアを提供する上で拠り所となるよう、職員間で検討し、理念の見直しに繋げる。	地域密着型サービスの意義や役割、利用者様への普段の関わりや思いが反映できるよう、理念の見直しを行っていく。	9 か月
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目の番号を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。